



若手職員を講師として大学の講義へ派遣しました！ ～敬和学園大学への出前講座を開催～

11月10日、新潟県新発田市に立地する敬和学園大学が開講している『地域産業論』という講義に若手職員を派遣しました。

講義は、初めに当事務所職員から羽越災害や、令和4年8月の出水も含めた近年の土砂災害状況を説明し、その後に学生より質問を受ける形で進められました。

この講義には、2年生から4年生の学生45名が参加しており、若手職員の熱の入った説明のあと、学生から土石流やハザードマップに関する質問の他、登壇直後の自己紹介での趣味の質問などありましたが、全ての質問に丁寧にお答えしていました。

この出前講座を通して、土砂災害についての理解をより深め、一人一人の防災意識を高めていただきたく思います。



静かに聴講する学生の様子



土砂災害の説明をする若手職員



すこし緊張気味の講義出だしの様子